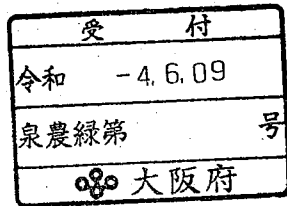


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 7日

大阪府知事 様
(大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)



提出者

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
三洋電機株式会社

氏 名 代表取締役社長 井垣 誠一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6991-1181

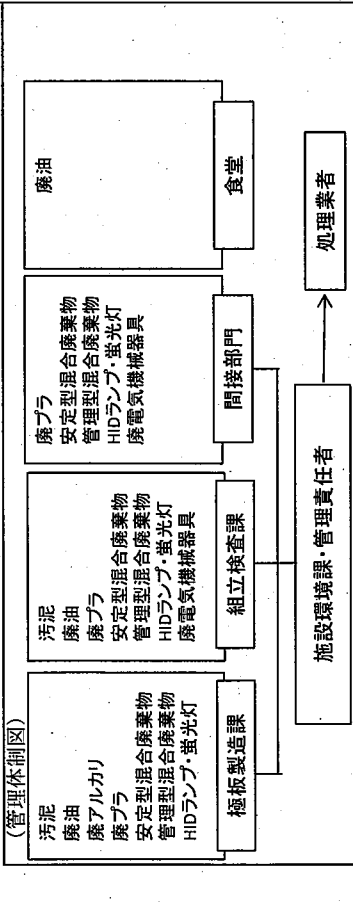
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三洋電機株式会社 モビリティエナジー事業部 大阪・和歌山工場
事業場の所在地	大阪府貝塚市麻生中174番地
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	2951：蓄電池製造業
②事業の規模	2021年度：売上額 435.1億円
③従業員数	406名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (令和3年度) 実績】	
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥
排出量	0.1 t
②無機性汚泥	80.8 t

①現状 (これまでに実施した取組)
別紙集計表シートのとおり

【目標】	
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥
排出量	0.1 t
②無機性汚泥	80.8 t

②計画
(今後実施する予定の取組)
・生産数増により廃油2.71t、廃アルカリ128tが増加見込み。
・生産設備の効率的運転を行い発生量が減少するように努めています。
・蛍光灯については蛍光灯器具のLED化で長寿命化を図り発生量が減少できるように実施中です。
・他は現状維持。
・2022年度EMS(経営マネジメントシステム)の活動計画にて責任者・従業員への廃棄物削減周知の展開を進めていきます。

産業廃棄物の分別に関する事項

【前年度 (令和3年度) 実績】	
産業廃棄物の種類	④廃アルカリ
排出量	1002 t
⑤廃プラスチック類	97.4 t
⑥安定型混合廃棄物	0.1 t

①現状 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・同上の内容を継続実施。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (令和3年度) 実績】	
産業廃棄物の種類	③廃油
排出量	0.2 t
④廃アルカリ	1002 t
⑤廃プラスチック類	97.4 t
⑥安定型混合廃棄物	0.1 t

【目標】	
産業廃棄物の種類	③廃油
排出量	2.91 t
④廃アルカリ	1130 t
⑤廃プラスチック類	97.4 t
⑥安定型混合廃棄物	0.1 t

産業廃棄物の分別に関する事項

【前年度 (令和3年度) 実績】	
産業廃棄物の種類	③廃油
排出量	2.91 t
④廃アルカリ	1130 t
⑤廃プラスチック類	97.4 t
⑥安定型混合廃棄物	0.1 t

①現状 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
・同上の内容を継続実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
【前年度(令和3年度)実績】		
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用はございません。	- t	- t
【目標】		
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
②計画 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用はございません。	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
【前年度(令和3年度)実績】		
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
①現状 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の熱回収、中間処理はございません。	- t - t	- t - t
【目標】		
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
②計画 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の熱回収、中間処理はございません。	- t - t	- t - t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
【前年度(令和3年度)実績】					
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物		
- t	- t	- t	- t		
【目標】					
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物		
- t	- t	- t	- t		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
【前年度(令和3年度)実績】					
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物		
- t	- t	- t	- t		
【目標】					
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物		
- t	- t	- t	- t		

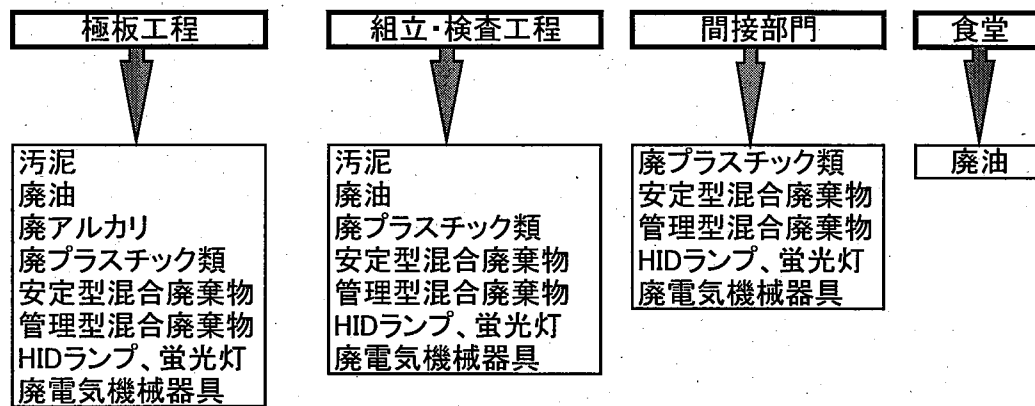
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
【前年度（令和3年度）実績】		
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分はございません。	- t	- t
【目標】		
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分はございません。	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
【前年度（令和3年度）実績】		
産業廃棄物の種類	①有機性汚泥	②無機性汚泥
全処理委託量	0.1 t	80.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	80.8 t
再生利用業者への処理委託量	0.1 t	80.8 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類(ビニール・ラップ・軟質プラスチックパレット)の有効物化。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物
- t	- t	- t	- t
【目標】			
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物
- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（令和3年度）実績】			
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物
0.2 t	1002 t	97.4 t	0.1 t
0.2 t	1002 t	- t	- t
0.2 t	1002 t	97.4 t	0.1 t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類(ビニール・ラップ・軟質プラスチックパレット)の有効物化。			

【目標】		①有機性汚泥	②無機性汚泥
産業廃棄物の種類			
全処理委託量	0.1 t	80.8 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	80.8 t	
再生利用業者への処理委託量	0.1 t	80.8 t	
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	
②計画	(今後実施する予定の取組) 2022年度環境方針を各業者に伝達し環境貢献に努めていきます。		
※事務処理欄			

【目標】				
③廃油	④廃アルカリ	⑤廃プラスチック類	⑥安定型混合廃棄物	
2.91 t	1130 t	97.4 t	0.1 t	
2.91 t	1130 t	- t	- t	
2.91 t	1130 t	97.4 t	0.1 t	
- t	- t	- t	- t	
- t	- t	- t	- t	

〔産業廃棄物発生工程フロー〕



公表用

〔産業廃棄物処理フロー〕

※----- 運搬、—— 処分

